

事務事業名	21133 環境衛生事務費													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	04	01	04	02	01	記入日	令和 4年 6月27日
	R3	15	04	00		R3	01	04	01	04	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち					再掲施策					● 対象 ○ 対象外		
施策	28	環境衛生の充実												
事業期間	平成16年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市あき地の環境保全に関する条例 ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画 61 人と動物の共生を推進する条例の制定と動物愛護 背策の推進							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	市民及び土地所有者													
事業目的	市民の環境美化意識を高め、きれいで安全・快適な生活環境の確保を図る。													
事業内容	「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」に基づき、喫煙制限区域等における巡回啓発を実施する。 スズメ蜂の巣の駆除を実施する。雑草等が繁茂している空き地の所有者に対して、草刈りの通告を行う。 水害等の災害時において、感染防止の消毒を実施する。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	ポイ捨て禁止 条例等の啓発 により市民の 環境美化意識	ポイ捨て禁止 条例等の啓発 により市民の 環境美化意識	ポイ捨て禁止 条例等の啓発 により市民の 環境美化意識	ポイ捨て禁止 条例等の啓発 により市民の 環境美化意識	ポイ捨て禁止 条例等の啓発 により市民の 環境美化意識	
	事業費	27,893	30,071	30,071	30,071	30,071	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	100	400	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	9,845	9,082	9,082	9,082	9,082
		一般財源	17,948	20,589	20,989	20,989	20,989
	人件費	7,893.36	8,862.72	8,862.72	8,862.72	8,862.72	
	投入 人員	常勤職員	1.14人	1.28人	1.28人	1.28人	1.28人
		非常勤職員	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
事業費+人件費		35,786	38,934	38,934	38,934	38,934	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	ポイ捨て及び喫煙ルールの啓発件数	件	4	4	4	4	3
	事務事業活動②	市内空き地繁茂状況パトロールの回数	回	4	4	4	4	4
	事務事業成果①	ポイ捨て条例に基づく過料請求件数	件	0	0	0	0	0
	事務事業成果②	放置雑草地の改善件数	件	3	3	3	3	3
				4				
目標達成状況の分析	<p>A：全ての目標を達成した。</p> <p>&lt;判断理由&gt;            放置雑草地の改善件数については、発生を抑制するとともに、発生した5件に対し、所有者に改善通知を送付する等により解決を図った。</p>							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	<p>A：施策の目標達成に大いに貢献している。</p> <p>&lt;判断理由&gt;            空き地を清潔に保持するよう、土地の所有者に対し改善指導を実施している。ポイ捨て禁止条例について、巡回啓発員、広報等により周知しており、環境美化意識の向上に寄与した。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	<p>A：経費の精査が十分になされている。</p> <p>&lt;判断理由&gt;            空き地の管理は所有者の費用で実施されている。飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の助成は、県の補助金を活用して実施している。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	<p>A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。</p> <p>&lt;判断理由&gt;            ポイ捨て禁止条例は、市広報へ記事を掲載する等、効率的に実施している。猫の不妊・去勢手術は、市民活動の一環として実施されている。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	<p>A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。</p> <p>&lt;判断理由&gt;            市内全域の空き地の保全に寄与している。また、スズメバチの巣の駆除は市内全域を対象としており、公平性が保たれている。</p>

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和3年度に実施した取組内容・効果	なし
令和4年度に実施する取組内容	<p>飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成については、令和4年度で県の補助が終了するため、令和5年度以降の助成実施の可否や制度を検討する。</p> <p>また、人と動物の共生を推進する条例の令和5年度制定及び施行に向け、他自治体等の調査・施策の研究を行い、条例案を検討する。</p>

## 6. 令和5年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<p>&lt;方向性の判断理由・取組方針&gt;            市民からの通報に迅速に対応し、空き地の所有者に改善通知を実施できるよう継続して取り組んでいく。また、喫煙に対する苦情はなくなっていないことから、ポイ捨て条例の周知や喫煙制限区域等の巡回啓発により、喫煙マナーの更なる向上を目指す。</p> <p>飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成については、令和5年度以降の助成実施の可否や制度を検討する。</p>

事務事業名	6999 狂犬病予防事業													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	04	01	04	03	01	記入日	令和 4年 6月27日
	R3	15	04	00		R3	01	04	01	04	03	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち						再掲施策				○ 対象		
施策	28	環境衛生の充実										● 対象外		
事業期間	昭和41年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	狂犬病予防法						関連計画 施政方針							
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	犬を飼っている家庭													
事業目的	狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上と公共の福祉の増進を図る。													
事業内容	生後91日以上の子犬の飼い主に対し、鑑札や注射済票を交付する。狂犬病予防集合注射、広報等による周知啓発により、狂犬病予防注射の接種を促進する。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	
	事業費	1,117	1,265	2,465	1,265	1,265	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	1,117	1,265	1,265	1,265	1,265
		一般財源	0	0	1,200	0	0
	人件費	2,700.36	2,838.84	2,838.84	2,838.84	2,838.84	
	投入 人員	常勤職員	0.39人	0.41人	0.41人	0.41人	0.41人
		非常勤職員	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
事業費+人件費		3,817	4,104	5,304	4,104	4,104	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	狂犬病予防集合注射の実施数	市内で集合注射を実施した回数	回	4	4	4	4
	事務事業成果①	狂犬病発生件数	市内での狂犬病発生件数	件	0	0	0	0
目標達成状況の分析	A : 全ての目標を達成した。 <判断理由> 狂犬病予防集合注射については、予定どおり実施することができた。 狂犬病発生件数が0件であり、事業目標は達成できている。							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	A : 施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 狂犬病予防集合注射を実施し、狂犬病の発生を抑制している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A : 経費の精査が十分になされている。 <判断理由> 狂犬病予防に関する連絡費や印刷費が主な経費であり、最小の経費で実施することができている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A : 事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 関係団体の獣医師の協力により狂犬病予防集合注射を実施する等、効率的に事業を実施している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	A : 受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。 <判断理由> 狂犬病予防集合注射は市内で偏りのないよう実施している。また、休日にも実施することにより、働いている飼い主にも集合注射を受けやすい環境を整え、公平性が保たれている。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和3年度に実施した取組内容・効果	令和2年度の狂犬病予防集合注射は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、令和3年度は感染症対策のため人員を増加して実施した。
令和4年度に実施する取組内容	重点戦略2 テーマ① 取組名：LINEアプリによる、犬の登録等の申請導入の検討 その他の効果：窓口に来庁する必要がなくなり、市民サービスの向上に寄与

## 6. 令和5年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 狂犬病予防集合注射の実施と畜犬管理システムの活用により、今後も予防注射接種率の維持・向上を図っていく。畜犬管理システムについては、LINEによる手続きに対応するため、システムの入替えを検討する。

事務事業名	21134 清掃総務事務費														
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当			
組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大・事・業・中・事・業	R4	01	04	02	01	01	01	記入日	令和 4年 6月27日	
	R3	15	04	00		R3	01	04	02	01	01	01			

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち					再掲施策					● 対象 ○ 対象外		
施策	28	環境衛生の充実												
事業期間	平成16年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画 56 循環型社会に向けたプラごみや食品ロスの削減と3Rの推進							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	地域住民													
事業目的	駅周辺やU字溝等を清掃することにより、環境の美化と環境衛生の推進を図る。													
事業内容	市内3駅周辺と駅前公衆トイレ、U字溝や現場打側溝等の清掃を行う。 ごみの排出を抑制する。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )													
行財政改革 の取り組み	重点戦略3 テーマ① 取組名：公民連携による市推奨ごみ袋の作製（令和4年度導入に向けた事業者募集、選定） 内容：推奨ごみ袋の作製にあたり、民間のノウハウを活用するため、公民連携制度に基づき事業者を募集・選定した。 重点戦略3 テーマ② 取組名：民間活力を活用したフードドライブの実施 内容：家庭で余っている食べ物や賞味期限が近づいた食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体などに寄付する活動を包括連携協定締結事業者とともに実施した。													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	
	事業費	71,337	77,367	77,367	77,367	77,367	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	13,339	11,937	11,937	11,937	11,937
	一般財源	57,998	65,430	65,430	65,430	65,430	
	人件費	10,662.96	13,848	13,848	13,848	13,848	
	投入 人員	常勤職員	1.54人	2人	2人	2人	2人
		非常勤職員	0.38人	0.38人	0.38人	0.38人	0.38人
事業費+人件費		82,000	91,215	91,215	91,215	91,215	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績	
目標達成状況	事務事業活動①	駅前及び駅トイレ清掃の実施日数	年間のトイレ清掃の実施日数	日	363	363	364	363	363
	事務事業成果①	清掃に関する苦情件数	駅前及び駅トイレ清掃に関する苦情件数	件	0	0	0	0	0
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 駅前及び駅トイレについて、委託により清掃業務を予定どおり実施し、清掃に関する苦情はなかった。								

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 駅周辺やU字溝等の清掃により、良好な地域環境を保持することができている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> U字溝の清掃については、一日あたりの単価契約とすることにより必要な日数のみ実施し、最小の経費で実施することができている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 委託業務において、障がい者の就労支援を図る等、手法を工夫している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。 <判断理由> 駅周辺及び駅前公衆トイレは全ての市民が利用することができ、公平性が保たれている。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和3年度に実施した取組内容・効果	取組名：公民連携による市推奨ごみ袋の作製（令和4年度導入に向けた事業者募集、選定） その他の効果：民間のノウハウを活用し、業務の効率化に寄与 取組名：民間活力を活用したフードドライブの実施 その他の効果：包括連携協定締結事業者の協力の下、コロナ禍における生活応援の役割を担うことができた。 災害時に大量に発生する廃棄物を適正に処理するため、災害廃棄物処理計画を策定した。
令和4年度に実施する取組内容	重点戦略3 テーマ① 取組名：公民連携による市推奨ごみ袋の作製（令和4年度導入） その他の効果：民間のノウハウを活用し、業務の効率化に寄与 重点戦略2 テーマ① 取組名：LINEアプリによる、粗大ごみ申請導入の検討 その他の効果：窓口に来庁する必要がなくなり、市民サービス向上に寄与 食品ロス削減のためのフードドライブ実施拠点拡大や、プラごみ削減の取組について検討する。

## 6. 令和5年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 駅周辺等の良好な地域環境の維持のため、継続して実施する。



事務事業名	21137 し尿収集事業													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	04	02	02	02	01	記入日	令和 4年 6月27日
	R3	15	04	00		R3	01	04	02	02	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち					再掲施策				○ 対象		
施策	28	環境衛生の充実									● 対象外		
事業期間	平成16年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画						
事業区分	○ 法定受託事務      ● 自治事務のうち義務的なもの      ○ 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	□ リスクシナリオ番号：												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	市民及び汲み取り世帯												
事業目的	清潔で快適な生活環境を創出するため、し尿を適正に処理し、公衆衛生の向上を図る。												
事業内容	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬と汲み取り手数料の徴収を行う。 観桜期の花見会場における仮設トイレの設置とし尿汲み取りを行う。												
実施主体	□市による単独直営      ■委託（□3セク・財団      ■企業      □市民・NPO）      □協働・協力（      ）												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額（千円）	令和4年度 予算額（千円）	令和5年度 計画額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	
	事業費	2,333	7,065	7,065	7,065	7,065	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	708	691	691	691	691
	一般財源	1,625	6,374	6,374	6,374	6,374	
	人件費	1,177.08	761.64	761.64	761.64	761.64	
	投入 人員	常勤職員	0.17人	0.11人	0.11人	0.11人	0.11人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		3,510	7,827	7,827	7,827	7,827	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	し尿汲取りの実施回数	1世帯あたりの年間汲取り回数	回	24	24	24	24
	事務事業成果①	汲取り世帯からの苦情	汲取り世帯からの苦情の合計件数	件	0	0	0	0
目標達成状況の分析	<p>A：全ての目標を達成した。</p> <p>&lt;判断理由&gt; し尿汲み取りや運搬を完全実施し、し尿汲み取り世帯の保健衛生環境の向上に寄与した(一般154人、業務27人、合計181人)。 なお、し尿汲み取り手数料の調定額は721,400円で、収入済額は703,800円、収納率は97.6%である。</p>							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 対象世帯のし尿汲み取りを完全実施しており、保健衛生環境の向上に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> し尿の汲み取りについては、利用者ごとの単価契約とする等最小の経費で業務を実施している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 定期的にし尿汲み取りを実施し、市民からの要望にも迅速に対応している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。 <判断理由> 対象は市内全域であり、市内の保健衛生環境の向上に寄与している。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和3年度に実施した取組内容・効果	なし
令和4年度に実施する取組内容	なし

## 6. 令和5年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 対象世帯がなくなるまで実施する必要がある。し尿汲み取り手数料の徴収については、口座振替の促進を図る。



事務事業名	21138 廃棄物収集処理事業													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	04	02	02	03	01	記入日	令和 4年 6月27日
	R3	15	04	00		R3	01	04	02	02	03	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち						再掲施策				○ 対象		
施策	28	環境衛生の充実										● 対象外		
事業期間	平成16年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画 戸田市ごみ処理計画							
事業区分	○ 法定受託事務      ● 自治事務のうち義務的なもの      ○ 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：2-3、8-1													
総合戦略	□ 施策番号：													
対象	市内在住者													
事業目的	日々の市民生活や経済活動を支える必要不可欠な社会インフラである廃棄物の収集処理を、適正かつ安定的に継続実施する。不法投棄を抑制し、環境の美化と保全を図る。													
事業内容	家庭ごみの分別収集、粗大ごみの予約受付・収集を行う。 不法投棄防止のための監視パトロールや不法投棄された廃棄物の回収を行う。													
実施主体	□市による単独直営      ■委託（□3セク・財団      ■企業      □市民・NPO）      □協働・協力（      ）													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額（千円）	令和4年度 予算額（千円）	令和5年度 計画額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	廃棄物を効率的に収集し、不法投棄を監視する。	廃棄物を効率的に収集し、不法投棄を監視する。	廃棄物を効率的に収集し、不法投棄を監視する。	廃棄物を効率的に収集し、不法投棄を監視する。	廃棄物を効率的に収集し、不法投棄を監視する。	
	事業費	340,080	340,172	355,172	355,172	355,172	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	36,430	36,407	36,407	36,407	36,407
		一般財源	303,650	303,765	318,765	318,765	318,765
	人件費	4,569.84	4,015.92	4,015.92	4,015.92	4,015.92	
	投入 人員	常勤職員	0.66人	0.58人	0.58人	0.58人	0.58人
		非常勤職員	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
事業費+人件費		344,650	344,188	359,188	359,188	359,188	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	まちづくり出前講座実施回数	年間の実施回数	回	3	3	3	3
	事務事業活動②	不法投棄の調査回数	通報やパトロールによる調査件数	回	1,000	1,000	1,000	1,000
	事務事業成果①	ごみ収集量	家庭から排出された可燃ごみの総量	トン	20,607	20,607	20,607	20,607
	事務事業成果②	不法投棄の回収個数	通報やパトロールによる回収個数	個	3,900	3,900	3,000	3,900
	強化KPI①	ごみ収集回数（もやすごみ及びもやさないごみ）	一週あたりの収集回数	回	18	18	18	18
					1			
					18			
目標達成状況の分析	B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> 新型コロナウイルスによる在宅時間の増加等の影響もあり、家庭ごみ（可燃ごみ）が増加した。不法投棄の回収個数も増加した。 まちづくり出前講座については、新型コロナウイルス拡大防止のため人が集まる機会を減らす必要があることから、申請が減少し、目標値に届かなかったが、少人数の申請があり1回実施することができた。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 家庭ごみの回収を継続して実施することにより、市民の生活環境を清潔に保持することに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> 人口増に伴い、ごみの集積所も増加しているが、経費は最小限に抑えられている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 家庭ごみの収集に関し、適切なサービスが提供できている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。 <判断理由> 家庭ごみについては有料化するのではなく、分別収集によるごみの減量を促進することにより、公衆衛生の向上を図っている。また、市の全世帯が回収の対象であり、公平性が保たれている。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	なし
令和4年度に実施する取組内容	粗大ごみについて、申し込みが多い状況が継続していることから、収集運搬体制について検討する。

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> ごみの収集運搬を確実に実施するため、継続して実施する必要がある。 粗大ごみについて、新型コロナウイルスの影響を受け、申し込みが多い状況が継続しており、またLINEによる粗大ごみ申し込みの導入を検討していることから、収集運搬体制を強化する。

事務事業名	7006 蕨戸田衛生センター分担金													
担当組織	環境経済部					環境課					担当		クリーン推進担当	
組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	04	02	03	01	01	記入日	令和 4年 6月27日
	R3	15	04	00		R3	01	04	02	03	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち						再掲施策				○ 対象	
施策	28	環境衛生の充実										● 対象外	
事業期間	平成17年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						関連計画 施政方針						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：2-3、8-1												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	市民、事業者、蕨戸田衛生センター												
事業目的	日常生活から排出されるごみを適正に処理し、清潔で快適な市民生活を確保する。												
事業内容	蕨戸田衛生センターにおける円滑で効率的なごみ処理事業に必要な分担金を負担する。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ( 一部事務組合 )												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	
	事業費	728,157	799,599	799,599	799,599	799,599	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	728,157	799,599	799,599	799,599	799,599
	人件費	2,561.88	1,246.32	1,246.32	1,246.32	1,246.32	
	投入 人員	常勤職員	0.37人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		730,719	800,845	800,845	800,845	800,845	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	蕨戸田衛生センター議会開催回数	回	4	4	4	4	4
	事務事業成果①	分担金支出割合	%	100	100	100	100	100
	強化KPI①	分担金支出割合	%	100	100	100	100	100
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 蕨戸田衛生センターの運営分担金について、100%支出することができた。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	
A	A	A	A	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 分担金を適切に支払うことにより、蕨戸田衛生センターの事業が円滑に実施され、安定的にごみやし尿の処理が実施されている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	
A	A	A	A	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> 本市、蕨市、蕨戸田衛生センターの3者により、連絡協議会が組織され、経費は十分に精査されている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	
A	A	A	A	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 蕨市と共に一部事務組合である蕨戸田衛生センターを設置し、ごみやし尿の処理の集約化を図っており、持続可能な適正処理が確保されている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	
A	A	A	A	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。 <判断理由> 市内全域から排出されるごみやし尿が円滑に処理されており、公平性は確保されている。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和3年度に実施した取組内容・効果	なし
令和4年度に実施する取組内容	なし

6. 令和5年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 今後も市内の家庭ごみやし尿を安定的に処理するため、連絡協議会等により十分精査し、継続して分担金を支払うことが必要である。令和元年度から4年間に亘り、蕨戸田衛生センターの施設延命化工事が実施されているため、ごみ処理等が滞ることがないように努める。